

事業所名

オールケア大日

支援プログラム
(放課後等デイサービス・重症心身障がい児対象外)

作成日

令和6年 4月 1日

法人（事業所）理念		法人：オールケア・グループの我々は、福祉の事業を通して多くの人々のお役に立ち、心の安らぎと豊かな生活環境をつくり、有意義な人生を送る同士の結合体である 事業所：ご利用者・ご家族・スタッフ等、縁あるすべての人が心でつながり、いつも笑顔で夢を語る大日！を目標とし、ご利用者やご家族との対話を大切に真心のケアを行い信頼関係を深めます また、ご利用者・ご家族には安全で安心して過ごせる、スタッフには笑顔でイキイキと働ける環境を作ります									
支援方針		◇子どもたちも保護者も安心して通える場所を作ります ◇いろいろなことに挑戦し、自分でできる喜びを感じ、生きている実感と希望を持てるよう環境を整えます									
営業時間		平日 休日	13 10	時 30	分 00	から 17 16	時 30	分 00	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	◇基本的生活習慣の援助を行い、スキルの獲得、自立へを導いていきます ◇日常生活や社会生活を営めるよう1人ひとりに適した様々な(身体的・精神的・社会的)支援を行います ◇様々な遊びを通して学べるよう環境を整え、時間や空間、次の行動がわかりやすいよう視覚化・構造化します									
	運動・感覚	◇移動や歩行、日常生活に必要な運動能力や筋力の維持・強化を図るため、運動に関するプログラムを実施します ◇子どもたちの発達段階及び特性に配慮した視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できる環境をつくります ◇補助用具を適切に扱い、十分に活用していく中で機能の維持・向上を図ります									
	認知・行動	◇絵カードやPECS等を用いて、自分の気持ちを表現する楽しさを伝えていきます ◇文字や数字、絵カード等を用いてタイムスケジュールの理解や次の行動がわかりやすいよう視覚化・構造化します ◇小集団の関わりの中で、日常生活や社会生活に必要なことやルールを知り、身につくよう支援します									
	言語 コミュニケーション	◇自分の気持ちを表現できるよう言葉や指差し、身振り等の表現を受け止め、丁寧に関わる中で必要なコミュニケーションツールを探り、支援へとつなげていきます ◇挨拶や正しい言葉を使う等スタッフが手本となり、1人ひとり丁寧に言葉をかけ応答的な関わりをします ◇読み書きの力を養えるよう遊びの中で学べる環境を整えます									
	人間関係 社会性	◇集団遊びやゲーム、グループでの活動を通してルールや順番を知ったり、人との関わり方や接し方を伝えていきます ◇スタッフとの信頼関係を基盤とし、人や社会との関わり方を知る機会をつくる中で社会性の発達を促します									
家族支援		◇発達や特性に関する情報の共有、相談・アドバイスを行います ◇定期的に面談を行い、支援の調整を行います				移行支援		◇保健所や相談支援、医療機関等と連携を図ります ◇移行先と情報共有や環境調整を図ります			
地域支援・地域連携		◇保健所や相談支援、医療機関等と連携を図ります ◇学校との連携を図り、個別のケース検討会議等出席します				職員の質の向上		◇毎月、内部研修を行います ◇外部研修に進んで参加し、研修報告会を行います ◇各研修担当者が全スタッフに必須研修を行います			
主な行事等		◇季節の行事 ◇運動会 ◇ふれあいまつり ◇遠足 ◇食育 ◇毎月の製作活動 ◇始まりと終わりの会(サークルタイム) ◇プール(夏季)									

事業所名

オールケア大日

支援プログラム
(放課後等デイサービス・重症心身障がい児対象)

作成日

令和6年 4月 1日

法人（事業所）理念		法人：オールケア・グループの我々は、福祉の事業を通して多くの人々のお役に立ち、心の安らぎと豊かな生活環境をつくり、有意義な人生を送る同士の結合体である 事業所：ご利用者・ご家族・スタッフ等、縁あるすべての人が心でつながり、いつも笑顔で夢を語る大日！を目標とし、ご利用者やご家族との対話を大切に真心のケアを行い信頼関係を深めます また、ご利用者・ご家族には安全で安心して過ごせる、スタッフには笑顔でイキイキと働ける環境を作ります									
支援方針		◇子どもたちも保護者も安心して通える場所をつくります ◇いろいろなことに挑戦し、自分でできる喜びを感じ、生きている実感と希望を持てるよう環境を整えます									
営業時間		平日 休日	13 10	時 30	分 00	から 17 16	時 30	分 00	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	◇健康な心と身体を育めるよう、1人ひとりに適した心地の良い環境を整えます ◇生理的なリズム・家庭でのリズムを配慮しながら、食べる・遊ぶ・寝るといった生活リズムを安定させて機嫌よく、意欲的に生活ができるよう関わっていきます ◇1人ひとりに合わせた衣服調節を行い、快適かつ健康に過ごせるようにします									
	運動・感覚	◇顔・手足等全身を刺激する中で、身体を動かすことの楽しさが感じられるよう関わっていきます ◇五感で感じる感覚や感触を体験できる様々な機会をつくります ◇補助用具を適切に扱い、十分に活用していく中で機能の維持・向上を図ります									
	認知・行動	◇1年通して様々な行事に参加し、季節の流れや感覚を感じながら経験を積み重ねていけるよう関わっていきます ◇文字や数字、絵カード等を用いて1日のスケジュールや次の行動がわかりやすいよう視覚化・構造化します ◇音楽やリズムを通して五感を刺激する活動を取り入れます									
	言語 コミュニケーション	◇声や言葉・指差し等の表現を見逃さずに受け止め、応答的に関わる中で、思いが伝わる楽しさや充実感が感じられるよう関わっていきます ◇1人ひとり丁寧に言葉をかけ、自発的な声や表現につながるよう促していきます									
	人間関係 社会性	◇スタッフとの信頼関係を基盤とし、友だちや周囲の人との安定した関係性を築いていきます ◇様々な遊びを通して大人や子ども達とふれ合い、心の充実感が感じられるよう関わっていきます									
家族支援		◇発達や特性に関する情報の共有、相談・アドバイスを行います ◇定期的に面談を行い、支援の調整を行います				移行支援		◇保健所や相談支援、医療機関等と連携を図ります ◇移行先と情報共有や環境調整を図ります			
地域支援・地域連携		◇保健所や相談支援、医療機関等と連携を図ります ◇学校との連携を図り、個別のケース検討会議等出席します				職員の質の向上		◇毎月、内部研修を行います ◇外部研修に進んで参加し、研修報告会を行います ◇各研修担当者が全スタッフに必須研修を行います			
主な行事等		◇季節の行事 ◇運動会 ◇ふれあいまつり ◇遠足 ◇食育 ◇毎月の製作活動 ◇始まりと終わりの会(サークルタイム) ◇プール(夏季)									